

# 漁海況情報

沖縄県水産試験場

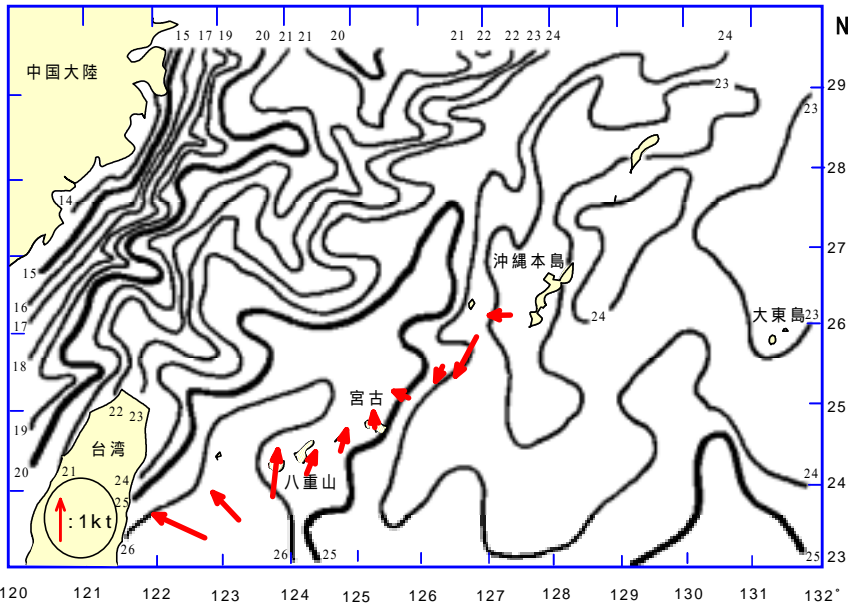
901-0305 沖縄県糸満市西崎1丁目3番1号

電話 098-994-3593・3597

ファクシミリ 098-995-2357

2002年(平成14年)12月

第361号



## 海況

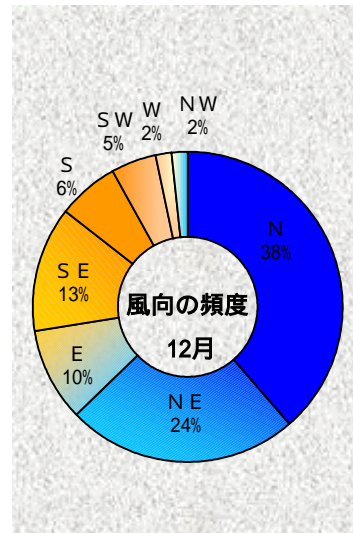
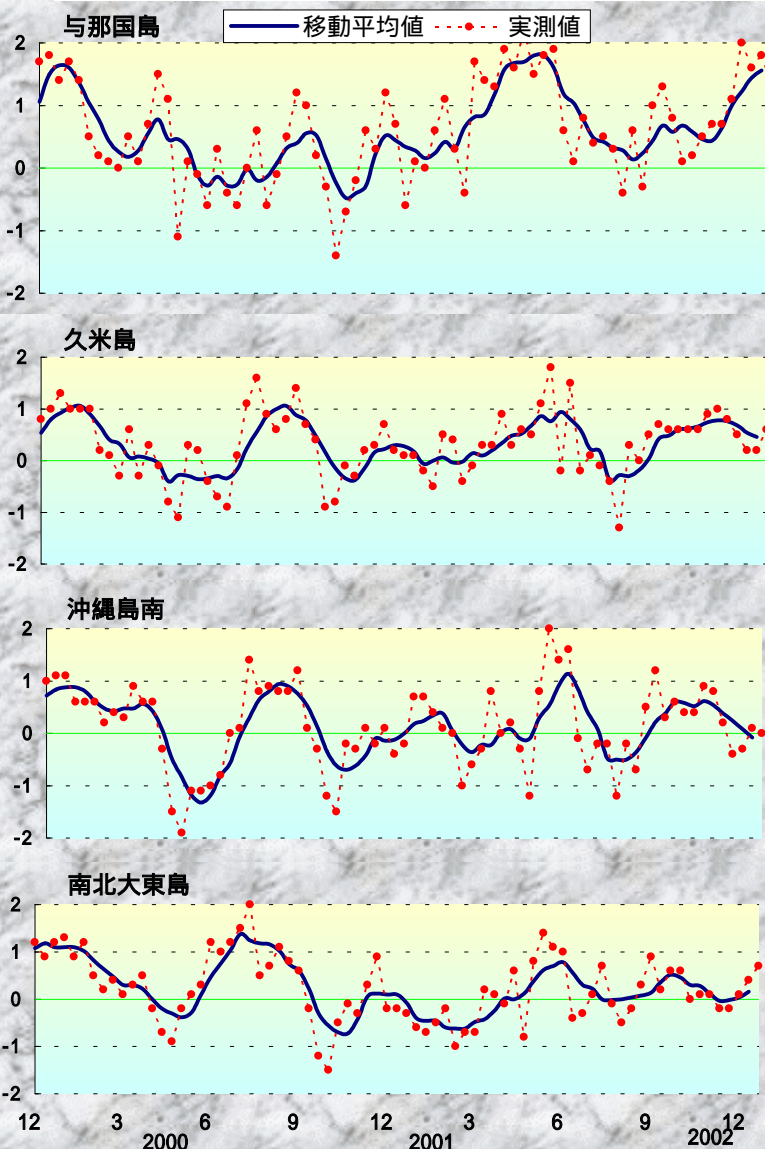
**天候:** 12月は北よりの風が多く、全体の64%を占めた。沖縄本島地域では、風速9-11m以上の予報日は24日で、全般にわたり風の強い日が多かった。(琉球新報天気欄より)

**流況:** 12/15 - 12/16の観測結果では、那覇 - 宮古中央では南に流れていた(那覇 - 大東間は次測)。

(定期船による観測結果: 図1)

図1 表面水温分布図(2002年12月17日),

資料: 東シナ海海況速報(漁業情報サービス), だいとう(大東海運), 飛龍21(有村産業)



表面水温: 12/17(12/10 ~ 12/16)では、与那国島から八重山で25-26台、宮古島は25台、久米島・沖縄島西側は23台、南・北大東島は23台で、前月中旬より1ほど降温した(図1)。

与那国、久米島、沖縄島南、南北大東島周辺の表面水温の年偏差を図2に示した。

### 12月の表面水温年偏差

与那国	かなり高い
久米島	年並み
沖縄島南	年並み
大東島	やや高い

図2 沖縄近海における表面水温偏差(目盛りは旬)

資料: 西日本海況旬報(長崎海洋気象台)

**漁況**

パヤオ漁業： 沖縄島南部海域でシビ、伊良部もシビの水揚げが多かった。



ソデイカ（せーいか）

糸満では、キハダ(10kg以上)が約2.6t、シビ(10kg未満)が2.7t漁獲された。港川ではキハダが0.8t、沖縄市ではキハダが0.7t、知念でもキハダが1.1t漁獲された(表1)。

**表1 12月のパヤオ漁業の漁協別漁獲量(t)**

魚種名	糸満	港川	知念	沖縄市	計	伊良部	奄美群島
シイラ	2.5	0.7	0.8	2.4	6.4	5.1	-
加がキ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
沖サワラ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	-
カツオ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	-
キハダ	2.6	0.8	1.1	2.0	6.4	2.7	-
シビ	2.7	0.7	0.6	3.3	7.3	16.3	-
メバチ	0.2	0.0	0.1	0.1	0.4	0.2	-
計	8.0	2.1	2.7	7.8	20.6	25.4	-

**表2 12月ソデイカ漁獲状況(t)**

漁協	2001年	2002年	伸び率 (対前年)
	12月	12月	
糸満	47.3	53.6	13.3%
知念	17.3	16.6	-4.4%
国頭	19.5	12.0	-38.2%
名護	15.4	13.8	-10.5%
久米島	2.8		
港川	0.0	4.9	
石川	2.6	0.7	-71.8%
伊江島		21.2	
金武	7.6		
八重山	0.0	6.3	
計	112.4	129.0	14.8%
奄美群島	23.9		

\* 奄美海域の漁獲情報提供：  
鹿児島県大島支庁

ソデイカ漁業： 図4は沖縄県全体のソデイカ漁獲量の月別推移である。代表的な8漁協の12月の漁獲量は129tだった(表2参照)。

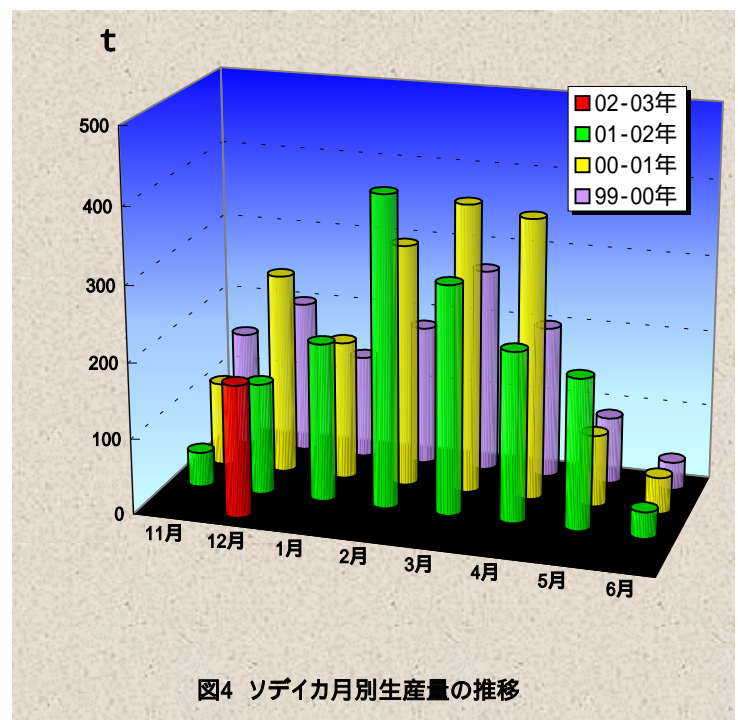
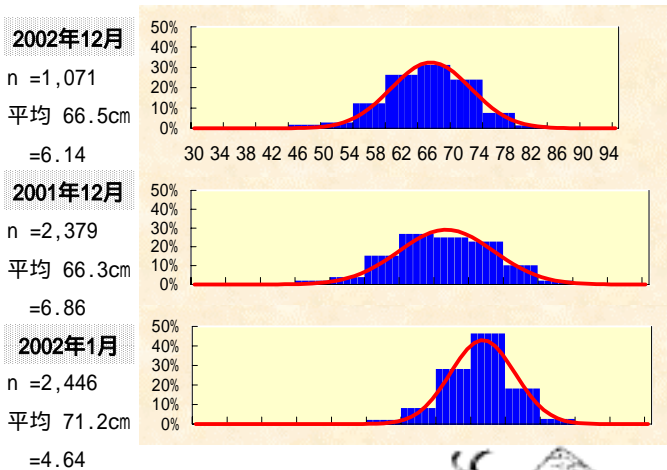
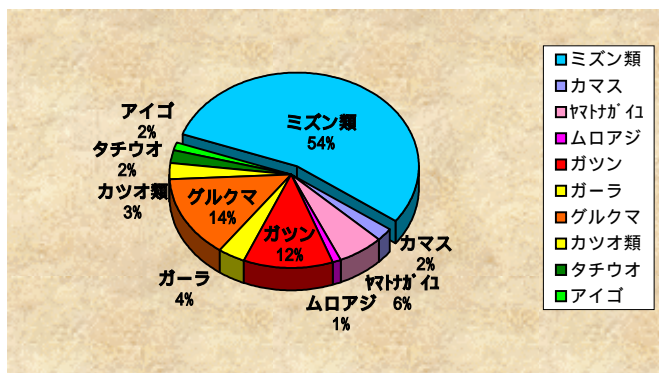


図4 ソデイカ月別生産量の推移

**図3 糸満漁協のソデイカ外套長の頻度分布**



定置網：12月は先月(7.2t)に比べて増加した。ミズンの漁獲が54%を占めた。



**表3 12月の定置の主要魚種別漁獲量(t)**

魚種名	大型定置			小型定置			合計
	読谷	知念	石川	与那原	勝連	与那城	
ミズン類	3.1	0.1	0.3			0.7	4.2
カマス	0.0	0.0	0.0			0.0	0.2
ヤトガイ	0.2	0.1	0.0			0.1	0.5
ムロアジ	0.1	0.0	0.0			0.0	0.1
ガツン	0.4	0.1	0.5			0.0	0.9
グルクマ	0.3	0.1	0.4			0.3	1.1
カツオ類	0.2	0.0	0.0			0.0	0.2
タチウオ	0.0	0.1	0.0			0.0	0.2
アイゴ	0.0	0.0	0.0			0.1	0.1
その他	1.7	4.1	0.3			0.5	6.7
合計	6.1	4.8	1.7			1.7	14.3